

女性活躍応援プロジェクト事業【山梨県】

個別事業費	1,721 千円
交付金額	860 千円

地域の実情と課題

本県では、女性の年齢階層別有業率において30代を谷とするいわゆる「M字カーブ」が依然として見られ、出産・育児を契機に離職する女性（6.9%）が一定数存在している。

また、若年世代、特に女性において、進学や就職を契機とした東京圏志向による県外転出が進んでいる。こうした状況を踏まえ、女性が働きやすい職場環境の整備や、将来を見据えたキャリア形成に向けた支援が課題となっており、改善に向けた取組を進めていく必要がある。

事業の特徴

企業に対しては、関係機関と連携したネットワーク会議や経営者・管理職向け講座を通じ、女性活躍に関する理解の促進と行動につながる意識づくりを進めている。

また、県独自の「山梨えるみん」認定制度の取得促進、アドバイザー派遣による伴走支援、ロールモデルとなる女性の発信を組み合わせることで、女性が働きやすい職場環境の整備を進め、国のえるぼし認定にもつながる取組を県内企業に広げ、女性活躍を推進する企業の増加につなげている。

事業の効果

- 関係機関と連携したネットワーク会議を開催し、各取組を円滑に推進する体制を整備した。
- 経営者・管理職向け講座により、女性や若手人材の活躍を後押しする組織づくりへの理解が深まった。
- 県独自の「山梨えるみん」認定制度の普及促進や、アドバイザー派遣、認定企業間の交流を通じて、女性活躍推進に取り組む企業が増加した。
- ロールモデルとなる女性を招いたセミナーを開催し、女性自身がライフプランやキャリアについて考える契機となった。

目的・目標

目的：企業経営者等には意識改革や行動変革を促すとともに、若年層や働く女性には女性活躍に関する意識啓発を図る。あわせて「山梨えるみん」認定制度を活用し、女性活躍推進や男性の育児参画に積極的に取り組む企業の増加を目指す。

目標：「山梨えるみん」新規認定企業数 30社（R7実績 55社）

連携団体

- やまなし女性の活躍ネットワーク会議
 <参加団体>
 - ・県内各経済団体
 - ・農林業団体
 - ・建設業団体
 - ・労働組合
 - ・観光関係団体
 - ・女性団体
 - ・福祉／医療関係団体
 - ・山梨県市長会
 - ・山梨県町村会
 - ・NPO法人
 - ほか
- 山梨県立男女共同参画推進センター
- 山梨えるみん認定企業

今後の課題

- 講演会やセミナーによる意識啓発を通じて県民の関心は高まりつつあるが、今後は、理解にとどまらず実際の行動につながるよう、より実践的で参加しやすい内容とする必要がある。
- 「山梨えるみん」認定企業は着実に増加していることから、今後は、より高い水準の取組を目指し、「えるぼし」や「くるみん」認定へのステップアップを促していく必要がある。
- 働く女性を取り巻く課題は多様化しているため、企業や関係機関と連携しながら、状況に応じた継続的な支援を行っていく必要がある。

事業の概要

◆やまなし女性の活躍推進ネットワーク会議

日時：

- ・第1回 令和7年6月6日（金）（書面開催）
- ・第2回 令和8年3月17日（火）（書面開催）

構成団体：前述の連携団体参照

内容：経済団体や企業、行政等の関係機関が連携・協力し、女性活躍推進を進めるためのネットワーク会議。女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号）第27条第1項の規定による協議会として位置づけている。

◆経営者・管理職向け意識改革講座

講師：宇佐川 邦子 氏

（株式会社インディードリクルートパートナーズ リサーチセンター
上席主任研究員）

日時：令和7年6月13日（金）14：30～16：30

参加者：78名

内容：男女共同参画や女性の活躍推進に必要な経営者・管理職の意識改革及び行動変革を促すことを目的として、企業の経営者や人事労務関係者を対象に、「企業が今、本当にすべきこと～女性、若者に選ばれる企業になる道～」をテーマとした講演会を開催した。

◆山梨の未来を担う女性活躍促進セミナー

日時：令和8年2月28日（土）14：00～16：00

参加者：27名

内容：女性活躍社会の実現に向け、様々な分野で活躍する県内の女性をロールモデルとして招き、一歩前に踏み出したきっかけ等をテーマとしたパネルディスカッションを実施した。後半では、参加者が自身のライフデザインについて考える契機とするため、参加者との意見交換及びパネリストとの交流を行った。

◆県独自「山梨えるみん」認定の促進

内容：

国の「えるぼし」認定や「くるみん」認定の取得につなげる足がかりとして、認定基準を一部緩和した県独自の「山梨えるみん」認定制度の取得を促進した。併せて、「えるぼし」認定、「くるみん」認定及び「山梨えるみん」認定の取得を後押しするため、認定に向けた助言や認定手続きに関する支援等を行うアドバイザー派遣を実施した。

実績：

- ・認定企業数：155事業者（R7新規認定取得 55事業者）
- ・アドバイザー派遣：50社に対し、延べ60回訪問

◆山梨えるみんネットワーク会議

日時：令和8年3月3日（火）10：00～12：00

参加者：6社（7名）

内容：「山梨えるみん」認定企業間のネットワーク構築を図り、女性活躍推進に向けた取組事例の共有や相互交流を促進することを目的として開催した。会議では、コーディネーターの進行のもと、各社における働き方や日頃感じている職場の課題、社内での取組事例について意見交換を行い、認定企業同士の連携強化を図った。

山梨県男女共同参画推進センター
山梨の未来を担う女性活躍促進セミナー

私的一步が未来を変える

～挑戦のきっかけを見つける時間～
自分らしく歩んでいくためには、どうすればよいのでしょうか？
働きで活躍する女性と、そのサポートをする企業、お互いのライフデザインを一緒に考えてみませんか？

2026.2.28 (土) 14:00～16:00
会場 こうふ角屋座 演芸場 (甲府市丸の内1-11-5)

1 県内で活躍する女性による「山梨えるみん」認定企業紹介

2 先輩と後進者の交流
パネリストと一緒に考えよう！
みなさん、一緒に考えよう！
自分らしい働き方を考えよう！

主催 山梨県
総合企画課 男女共同参画推進課 多様な働き場課
TEL:055-223-1358 FAX:055-223-1916 E:kyo-jijyo@pref.gyamanashi.jp

講演会
企業が今、本当にすべきこと
女性、若者に選ばれる
企業になる道
2025.6.13 (金) 14:30～16:30
会場 山梨県庁防災新館オープンスペースA (甲府市1-6-1)

講師 株式会社インディードリクルートパートナーズ
リサーチセンター 上席主任研究員
宇佐川 邦子 氏

【講師プロフィール】
株式会社インディードリクルート 専任、7年。大企業に勤務し、様々な分野の仕事を担当。大企業から、人材育成、労務、経営支援などの事業推進の責任を担い、働き手と企業を繋ぐ役割を担ってきた。現在は、企業と働き手をつなぐための支援活動に従事し、働き手と企業の両方から、内閣府、経済産業省、日本・東京証券取引所において委員も務める。

【イベント概要】
14:30-15:00 開会挨拶 講演会 講演会 講演会 講演会 講演会 講演会
15:00-15:30 質疑応答 講演会 講演会 講演会 講演会 講演会 講演会
15:30-16:30 閉会挨拶

【申込方法】
申込先：山梨県男女共同参画推進センター
申込期間：2025年6月11日（水）
申込先：https://forms.office.com/r/KZUjzqz8t8

主催 山梨県
総合企画課 男女共同参画推進課 多様な働き場課
TEL:055-223-1358 E:kyo-jijyo@pref.gyamanashi.jp

山梨えるみんネットワーク会議
えるみん交流会
「誰もが働きがいのある職場をつくる
コミュニケーションとは」
✓同じよさを共有し「繋がり」を築き、交流できる
✓自分の働き方を広げよう
✓自分の働き方を広げよう

日時 3月3日(火) 10:00～12:00
会場 山梨県立図書館 交流ルーム102 (甲府市北172-8-1)

コーディネーター
加藤ひかる 氏
株式会社アップ 代表取締役

山梨えるみん・山梨県「えるみん」認定企業（後援）後援者（人事担当）氏名

主催 山梨県男女共同参画推進センター
TEL:055-223-1358
申込 QRコード